

パネルセッション

第1部 [14:00 ~ 15:30 (90分)]

第1会場	第2会場	第3会場
4階 国際会議室 司会：才田いずみ （東北大学）	2階 メインホール A 司会：宇佐美洋 （東京大学）	2階 メインホール B 司会：西口光一 （大阪大学）
①…p.24 文章理解過程における日本語学習者の多義語の意味把握—文脈的手がかりを用いて— 石黒圭（国立国語研究所） 烏日哲（同） 劉金鳳（中国無錫職業技術学院） 布施悠子（国立国語研究所）	②…p.34 日本語教師教育・教師養成のエピステモロジーの多角的考察—研究や実践を超えていく日本語教育者像— 嶋津百代（関西大学） 神吉宇一（武蔵野大学） 北出慶子（立命館大学）	③…p.43 日本語教育における公共性の意味と課題 細川英雄（言語文化教育研究所） 牛窪隆太（関西学院大学） 三代純平（武蔵野美術大学） 市嶋典子（秋田大学）

第2部 [15:45 ~ 17:15 (90分)]

第1会場	第2会場	第3会場
4階 国際会議室 司会：因京子 （日本赤十字九州国際看護大学）	2階 メインホール A 司会：遠山千佳 （立命館大学）	2階 メインホール B 司会：西谷まり （一橋大学）
④…p.53 学部段階の日本語教育と理工系専門教育との効果的な連携—数学教育・物理教育とのコラボ授業事例から— 太田亨（金沢大学） 佐藤尚子（千葉大学） 菊池和徳（大阪大学） 藤田清士（同） 村岡貴子（同）	⑤…p.63 日米豪韓における「会話データ分析」の研究成果と教育現場への活かし方を探る—文献調査とインタビュー調査をもとに— 中井陽子（東京外国語大学） 大場美和子（昭和女子大学） 宮崎七湖（新潟県立大学） 尹智鉉（早稲田大学）	⑥…p.73 「地域日本語教師」養成のためのプログラム開発と講座実施から見えてきたこと—「ともに社会をつくる仲間」という視点から— 嶋田和子（アクラス日本語教育研究所） 坂本勝信（常葉大学） 内山夕輝（浜松国際交流協会） 白皓（南山大学大学院生）

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

口頭発表

午前の部

[9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

第 1 会場

4 階 国際会議室
司会：中河和子
(トヤマ・ヤポニカ)

9:30 ~ 10:00

①…p.84

地域日本語教室における外国人技能実習生の日本語習得の継続的動機づけ

小林正 (京都外国語大学大学院生)

10:10 ~ 10:40

②…p.90

神奈川県の一都市における「特別の教育課程」編成の取り組み—DLA アセスメント導入による外国人児童生徒の言語能力把握—

宮崎幸江 (上智大学短期大学部)

10:50 ~ 11:20

③…p.96

官学民の連携による「公共圏」の創造—互恵的な親子参加型イベントの実践報告—

福村真紀子 (早稲田大学大学院生)
三代純平 (武蔵野美術大学)

11:30 ~ 12:00

④…p.102

継続的に支援に参加した地域の母語支援者の学び—ライフストーリーによる事例研究—

高梨宏子 (東海大学)

第 2 会場

2 階 メインホール A
司会：酒井順一郎
(九州産業大学)

⑤…p.108

日本語の教室における学習者の自発的情報提供—第二言語としての日本語学習者の相互行為能力という視点から—

佐野真弓 (関西学院大学大学院生)

⑥…p.114

日本語研究者・日本語教育関係者にとっての「現代日本社会の『多言語』化とは何か—「日本語研究・日本語教育文献データベース」を利用した経年的な考察—

岡田祥平 (新潟大学)

⑦…p.120

社会問題の中から「発見する」問題とは—日本語教育実践において考える—

新井久容 (早稲田大学)

⑧…p.126

生態学的アプローチから見る学習環境生成過程—アフォードする関係性と参加—

齋藤智美 (早稲田大学)

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

口頭発表

午前の部

[9:30 ~ 12:00 (各 30 分)]

第 3 会場

2 階 メインホール B
司会：俵山雄司
(名古屋大学)

⑨…p.131

中級・上級レベルの日本語学習者
にとってのシテシマウ—意見と説明を
述べるテキストの用例を中心に—

宮部真由美 (一橋大学)

9:30 ~ 10:00

⑩…p.137

中国の初級日本語教科書における
「ダロウ」の扱いについて—日本語母
語話者自然会話コーパスと比較して—

徐文輝 (金沢大学大学院生)

10:10 ~ 10:40

⑪…p.143

敬語の丁寧語化現象について—「て
あげる」の新用法を中心に—

佐藤陽二 (研究社)

10:50 ~ 11:20

⑫…p.148

「産出のための文法」から見たボイ
ス表現—受身、使役、自他の対応を中
心に—

庵功雄 (一橋大学)

11:30 ~ 12:00

第 4 会場

3 階 中会議室 301
司会：服部明子
(三重大学)

⑬…p.154

地方私立大学における留学生の就
労支援を考える—キャリア形成プロセ
スの考察から—

山本晋也 (徳山大学)

⑭…p.160

ビジネス日本語教育に対するグロー
バル社会化のインパクト—ビジネス日
本語の定義の再考からの一考—

栗飯原志宣 (ベトナム・日越大学)

⑮…p.166

日本語学校生の学習動機と自己形
成の関係—混合研究法を用いて—

岡葉子 (東京外国語大学)

⑯…p.172

首都圏に在住する語学教師の日本
語学習動機に関する—考察—英語母
語話者と非英語母語話者の比較を中
心に—

神定いずみ (目白大学大学院修了生)

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

口頭発表

午後の部

[13:30 ~ 16:40(各 30 分)]

第 1 会場

4 階 国際会議室

司会：牛窪隆太（関西学院大学）
伊藤秀明（筑波大学）

⑰…p.179

13:30 ~ 14:00

日本語教育学研究におけるインタビュー手法の諸相—学会誌『日本語教育』から見たインタビュー手法の変遷と動向—

朴在恩（一橋大学大学院生）

⑱…p.185

14:10 ~ 14:40

コトバと社会と人をつなぐための日本語教育—演劇づくりを取り入れた実践を通して—

松永典子（九州大学）

⑲…p.190

14:50 ~ 15:20

同僚教師により行われた実践研究の場を教師個人はどのように意味づけたか

小畑美奈恵（早稲田大学大学院生）

⑳…p.196

15:30 ~ 16:00

日本文化理解を深めるプロジェクトワークの実践から見えたこと—タイ人日本語教師・日本人ボランティア双方の視点から—

中尾有岐（国際交流基金）
二瓶知子（同）

㉑…p.202

16:10 ~ 16:40

教員養成学部における日本語教育の授業効果分析—リライト文の分析から—

大塚容子（岐阜聖徳学園大学）
中島葉子（同）

第 2 会場

2 階 メインホール A

司会：金田智子（学習院大学）
原瑞穂（上越教育大学）

㉒…p.208

学習者のルーブリックの理解度と有効性に対する評価—レポート作成における教師の役割—

安田励子（早稲田大学）
山同丹々子（同）
伊藤奈津美（同）
高橋雅子（同）

㉓…p.214

IRT 系モデルと Readability による日本語作文の定量的分析—大学教員による評価とコンピュータによる自動評価の比較—

伊集院郁子（東京外国語大学）
李在鎬（早稲田大学）
野口裕之（名古屋大学）
小森和子（明治大学）
奥切恵（聖心女子大学）

㉔…p.220

反転授業に対する教師の評価と意識の変容

手塚まゆ子（関西大学）
古川智樹（同）

㉕…p.226

中国人日本語学習者が書いた意見文の構成の可視化—一文レベルの機能・形式段落と段落間の関係を中心に—

肖宇彤（筑波大学大学院生）

㉖…p.231

韓国語を母語とする上級日本語学習者の読みの特徴—日本語母語話者との比較によるケース・スタディー—

李榮（神田外語大学）
山方純子（同）

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

口頭発表

午後の部

[13:30 ~ 16:40(各 30 分)]

第 3 会場

2 階 メインホール B

司会：福岡昌子（三重大学）
足立祐子（新潟大学）

⑲…p.237

13:30 ~ 14:00

母語話者のコミュニケーション方略と訂正フィードバックにタスクの種類が与える影響—初級レベルにおけるケーススタディー—

加藤伸彦（立命館大学）

⑳…p.243

14:10 ~ 14:40

レポート活動における日本語学習者の意識—ドイツ人学習者と台湾人学習者の事例分析から—

松本陽子（東京福祉大学）
手島利恵（早稲田大学）

㉑…p.249

14:50 ~ 15:20

ベトナム語を母語とする日本語学習者による固有名詞の意味理解—文脈の手がかりに着目して—

Nguyen Thi Thanh Thuy（国立国語研究所）

㉒…p.255

15:30 ~ 16:00

コミュニケーション上のブレイクダウンを引き起こす要因について—トルコ人日本語学習者の場合—

Seda DEDEOGLU(名古屋外国語大学大学院生)

㉓…p.260

16:10 ~ 16:40

メタ言語表現の機能は講義理解の手がかりとなり得るか—ノートテイキングと理解テストの結果から—

毛利貴美（早稲田大学）
古川智樹（関西大学）
中井好男（同志社大学）

第 4 会場

3 階 中会議室 301

司会：水野晴美
（国際日本語普及協会）

㉔…p.266

基本形容詞の類義語辞書モデルの検討—「小さい」を例として—

高原真理（岡山大学）

㉕…p.272

初級日本語教科書での副詞提示について—日本語学習者会話コーパスにおける副詞の使用実態から—

本廣田鶴子（日本大学大学院研究生）

㉖…p.276

中上級日本語教科書に現れた「いいえ」系応答詞—初級日本語教科書における扱い、自然会話と比較して—

野口美美（お茶の水女子大学大学院生）

㉗…p.282

地域日本語ボランティアに関する一考察—「国際交流のための草の根カウンセラー」として備えるには—

中井延美（明海大学）

ポスター発表 第1部 [10:50 ~ 12:20 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

会場

2階 中会議室 201

①…p.289

人工知能の仕組みを利用した学習者作文評価システム「jWriter」—I-JASを利用した試み—

李在鎬 (早稲田大学)
長谷部陽一郎 (同志社大学)
迫田久美子 (広島大学)

②…p.292

口頭運用能力向上をめざす教室活動—地域の日本語教室の実践記録から—

足立祐子 (新潟大学)
松岡洋子 (岩手大学)

③…p.296

ディベートを用いた技能統合的ライティングの実践と課題

小野塚若菜 (ベネッセ教育総合研究所)

④…p.302

すぐに日本語を使うことが必要な初級学習者を教える教師は、どのような工夫をしているか—公開されている実践の報告から—

上原由美子 (国際交流基金)

⑤…p.308

日本語学習者の学習継続決定の要因—地域多読活動の観察記録とインタビューより—

門井美奈子 (早稲田大学大学院生)
前川紘子 (同)

⑥…p.314

アカデミックな場面におけるプレゼンテーションを学習するための映像教材の開発

仁科浩美 (山形大学)

⑦…p.320

交換留学生の講義理解に関する—考察—M-GTAを用いた理解構築のプロセスの分析から—

中井好男 (同志社大学)
古川智樹 (関西大学)
毛利貴美 (早稲田大学)

⑧…p.326

アカデミック・ライティングにおける論証技術習得の課題

中村かおり (拓殖大学)
近藤裕子 (大正大学)
向井留実子 (東京大学)

⑨…p.332

一般映像作品の日本語教育素材としての難易度を決定する要因の分析—アニメーション3作品の視聴実験による量的・質的分析をもとに—

臼井直也 (デジタルハリウッド大学)
清水美帆 (国際交流基金)

⑩…p.336

引用を学ぶ基礎段階での学部留学生への指導—学術記事からの遡り型授業設計の提案—

大島弥生 (東京海洋大学)

⑪…p.342

間違えやすい漢字の誤用訂正システム

小川耀一郎 (長岡技術科学大学学生)
山本和英 (長岡技術科学大学)

ポスター発表 第2部 [12:40 ~ 14:10 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

会場

2階 中会議室 201

⑫…p.348

中学学齢期の JSL 生徒を対象にした教科につなぐための日本語総合教科書の開発

志村ゆかり (東京経済大学)
志賀玲子 (一橋大学)
武一美 (早稲田大学)
樋口万喜子 (横浜国立大学)
宮部真由美 (一橋大学)
永田晶子 (イーストウェスト日本語学校)

⑬…p.354

韓国語の品詞接続による「ゆれ」—助詞 e (에)・eul (을) に注目して—

梅林佑美 (京都外国語大学大学院生)

⑭…p.360

中国人日本語ナ、ラ、タ、ダ音混同の研究—福州方言話者を対象として—

呉琪 (神戸大学大学院生)

⑮…p.366

日中対照漢字語データベースの開発と応用

松下達彦 (東京大学)
陳夢夏 (一橋大学大学院生)
王雪竹 (同)
陳林柯 (同)

⑯…p.372

シャドーイング時の音韻・意味処理に及ぼす作動記憶容量と材料要因の影響—2文シャドーイング課題を用いた実験的検討—

韓暁 (中国・東南大学)
柳本大地 (広島大学)

⑰…p.374

日本語母語話者と日本語学習者にとってわかりやすいカタカナ語の言い換え表現とその評価

小野正樹 (筑波大学)
守時なぎさ (スロベニア・リュブリャナ大学)
山下悠貴乃 (国際交流基金)
田村直子 (ドイツ・ボン大学)

⑱…p.378

中国語を母語とする上級日本語学習者における聴解時のメモ行為の効果—作動記憶容量とメモの使用言語を操作した実験的検討—

徐暢 (広島大学大学院生)
費曉東 (中国・北京外国語大学)

⑲…p.381

中等教育日本語初学者向けアプリ『エリンと挑戦!にほんごテスト』の開発

夷石寿賀子 (国際交流基金)

⑳…p.387

自然科学系非漢字圏初級日本語学習者の漢字学習過程の考察—正誤判断時の自発的空書と眼球運動の観点から—

大北葉子 (順天堂大学)

㉑…p.389

日中対照漢字二字熟語データベースの構築と語彙特性の分析に関する研究

小森和子 (明治大学)
早川杏子 (関西学院大学)
李在鎬 (早稲田大学)
玉岡賀津雄 (名古屋大学)

㉒…p.395

ティーチャー・トークにおける「まあ」の使用—教科書発話には見られない日本語教師の不規則発話—

藤田裕一郎 (朝日大学)
立部文崇 (徳山大学)

ポスター発表 第3部 [14:30 ~ 16:00 (90分)]

下記に記載のページ番号は予稿集（電子版）の該当ページを示しています。

会場

2階 中会議室 201

②③…p.402

B2（上級）レベルの課題遂行をめざした教材開発—新たな教材像模索の試み—

大船ちさと（国際交流基金）
篠崎摂子（同）
清水まさ子（同）

②⑦…p.423

地域の日本語教室における支援者の意識—香川県での日本語学習者と支援者への調査から—

山下直子（香川大学）
畑ゆかり（穴吹ビジネスカレッジ）

③①…p.447

「公共性」を生み出す言語教育とは何か—二つの教育実践の営みから—

佐藤正則（山野美容芸術短期大学）
福村真紀子（早稲田大学大学院生）
細川英雄（言語文化教育研究所）
尾辻恵美（豪州・シドニー工科大学）

②④…p.408

「移動・越境・つながり」を考える—海外の日本語教育実習生の事例から—

トムソン木下千尋（豪州・ニューサウスウェールズ大学）
福井なぎさ（同）

②⑧…p.429

海外日本語教育普及政策の評価に関する実態調査—外務省に焦点をあてて—

坪田珠里（京都外国語大学大学院生）

③②…p.452

学習者コーパスの構築に関するケーススタディー調査実施とデータ整備のプロセスの問題点—

迫田久美子（広島大学）
佐々木藍子（国立国語研究所）
須賀和香子（同）
細井陽子（同）

②⑤…p.411

依頼メールの社会言語能力に「構成」が関わるか—日本人事務職員への調査を通して—

坂本勝信（常葉大学）
山下浩一（同）

②⑨…p.435

多読教材の文章難易度に関する考察—段階別多読用教材と旧日本語能力試験の統計的な対応づけの試み—

前川紘子（早稲田大学大学院生）
李在鎬（早稲田大学）

③③…p.456

高等教育機関における日本語初級前半コースのあり方を探る—インタビュー調査結果からの一考察—

佐野香織（早稲田大学）
齋藤智美（同）
鄭在喜（同）
吉田好美（同）

②⑥…p.417

動機付けを目的とした「アニメ・マンガの日本語」オンラインコースの制作と運用

武田素子（国際交流基金）
北口信幸（同）
大西薫（同）

③④…p.441

留学生のための基礎的専門連語の分野比較—経済・物理・化学・数学を対象に—

小宮千鶴子（早稲田大学）